

# けんぽく農林ニュース

ふくしまから はじめよう。  
「食」と「ふるさと」新生運動ニュース

～県北地方の「食」と「ふるさと」新生運動に関する  
情報をお知らせします～



出荷間近のあんぽ柿（伊達市）



県北地方の冬の味覚、おいしいあんぽ柿  
の季節です。

## 目次

- ・ Hot フルーツ！プロジェクト第2弾「りんご」が始まります！（企画部）・・・P2～P3
- ・ 川東鳥獣対策勉強会を開催し、電気柵の実証・展示ほを設置しました！（農業振興普及部）・・・P4
- ・ 県北地方特定家畜伝染病防疫演習を開催しました！（農業振興普及部）・・・P4～P5
- ・ 「りんご試食会 2019（第31回）」が開催されました！（農業振興普及部）・・・P5
- ・ ナシ黒星病対策のため落葉処理実演会が開催されました！（農業振興普及部）・・・P6
- ・ 内堀知事による白沢揚水機場の被災状況視察が行われました（農村整備部）・・・P7
- ・ 防災重点ため池の緊急点検を実施しました（農村整備部）・・・P7
- ・ 台風第19号による砂子堰の被災状況について（農村整備部）・・・P8
- ・ 農地や農業水利施設の被害状況確認の支援を行っています（農村整備部）・・・P8
- ・ 「ゆうきの里収穫大感謝祭農産物品評会」を開催しました！（安達農業普及所）・・・P9
- ・ 国見町貝田地区ほ場整備推進委員会による視察研修が行われました！（伊達農業普及所）・・・P10
- ・ 第3回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました！（企画部）・・・P11
- ・ 福島県オリジナル品種きのこの試食会が開催されました！（森林林業部）・・・P12
- ・ 大学生が企画したツアーの実施と、新たな郷土料理・スイーツをPRしました！（企画部）・・・P13
- ・ 安斎孝行さんが「緑白綬有功章」を受章しました！（安達農業普及所）・・・P14
- ・ 第8回桑折町新そばまつりが開催されました！（伊達農業普及所）・・・P15
- ・ パソコン簿記研修会を8年ぶりに開催しました！（安達農業普及所）・・・P16
- ・ ユズの出荷制限・あんぽ柿（干し柿含む）の加工等について（農業振興普及部）・・・P16
- ・ けんぽくの直売所紹介「とんやの郷」（企画部）・・・P17



## Hot フルーツ！プロジェクト第2弾「りんご」が始まります！

令和元年12月1日（日）から令和2年1月31日（金）まで、Hot フルーツ！プロジェクト「りんご」を開催します。第1弾「もも」に続き、県北管内10店舗で様々なメニューがお楽しみいただけます。忘年会やクリスマスのディナー、年末年始のお土産にぜひどうぞ！

（企画部）



### ハニーアップルコカ 680円

もちり米粉生地に、薄切りリンゴとゴルゴンゾーラを載せ、はちみつとローストアーモンドをアクセントに。

スペインバル カメレオン

📍福島市置賜町8-8パセナカ Misse2F

☎024-573-8970



### クロ和ツサンたい焼(リンゴのコンポート) 300円

果汁が多く甘酸っぱいリンゴとサクサクした生地が絶妙にマッチ。

たいやき 十番館

📍福島市南矢野目字向原1-1 コープマートやのめ1F

☎024-553-3433



### リンゴのピザ 800円

チーズの塩味となじむリンゴの味わいが絶品。アツアツを頬張りたい。

まるせい果樹園 農家カフェ 森のガーデン

📍福島市飯坂町平野森前27-3

☎024-541-4465



### MONOsweets (モノスイーツ)

#### リンゴのミルフィーユ&スパイスクッキー 380円

薄切りリンゴとクリームチーズを合わせたミルフィーユは甘酸っぱくて濃厚でずっしり。

Curry dining bar 笑夢

📍福島市大町2-35 サトウビル2F

☎024-522-1841



### ローストビーフとリンゴのサンドウィッチ 1,250円

リンゴにローストビーフ、トマト、チーズを挟んで、ボリューム満点。甘酸っぱいリンゴとローストビーフ、チーズの塩気のバランスが絶妙。

サイトウ洋食店

📍福島市栄町9-5 栄町清水ビル2階

☎024-521-2342



**焼き林檎のフランベ（2人分） 2,400円**

キャラメリゼした砂糖とバター、ピーチリキュールが効いたあつあつのソースで。

Tea&Bar MAGIE NOIR（マジー・ノアール）

🏠福島市陣場町8-8 ホーユウコンフォルトビルB1F

☎024-522-5535



**あぶくま三元豚のグリル**

**県産リンゴのキャラメルソース 900円**

リンゴの甘酸っぱさが、やわらかい豚肉のうまみをぐっと引き立てる。軽やかなワインと一緒に。

福島ワイン酒場

🏠福島市置賜町8-15 ピア21ビル7F

☎024-523-5225



**アップルポテト 450円**

リンゴの甘酸っぱさとポテトのやさしい甘さが紅茶に合う。持ち帰りも可能。

道の駅国見 あつかしの郷 ももたんカフェ

🏠伊達郡国見町藤田字日渡二18-1

☎024-585-2132



**焼きリンゴのミニコップ 150円**

熱を加えることで甘みと風味が増したリンゴとカスタードクリームをコップパンにサンド。

Melon de melon（メロン・ドゥ・メロン）福島大町店

🏠福島市大町8-20 プリティ大町ビル1F

☎024-503-9161



**水出しコーヒーまたは紅茶付き**

**焼リンゴ&パンケーキ 780円**

チーズムースを載せたパンケーキと、ラムレーズンのキャラメルソースのプレート。

焼き上げた輪切りのリンゴはシャキシャキの食感。

キッチン カプリッチョ

🏠福島市飯坂町平野字中原37-10

☎024-542-7738

寒くなったら、Hot フルーツ。





## 川東鳥獣対策勉強会を開催し、電気柵の実証・展示ほを設置しました！

令和元年10月24日（木）、福島市飯坂町湯野の川東集会所において、当事務所の主催、JAふくしま未来及び福島市の共催により、「川東鳥獣対策勉強会」を開催し、農振会や町内会、関係機関・団体職員など計46名が出席しました。

勉強会では、福島大学農学群食農学類の望月<sup>もちづき</sup>翔<sup>しょう</sup>太<sup>た</sup>准教授より「イノシシを寄せつけない集落づくり」と題し、イノシシの生態や対策のポイント、電気柵の適正な管理等について講演をいただきました。その後、参加者全員で集落環境診断を実施し、集会所周辺農地を巡回確認してその結果を地図へ書き込み、今後の対策等について話し合いました。

さらに、令和元年11月12日（火）、同集会所北側のモモ園地において、農振会やJA、福島市、当事務所から計15名が参集し、協力してイノシシ用電気柵の実証・展示ほを設置しました。

当事務所では、昨年度から福島市飯坂町湯野地区を「鳥獣被害防止対策の総合的な対策を行うモデル集落」に位置づけており、今年度は川東を重点エリアとして取り組んでいます。「モデル集落」での取組を活かしながら、今後も引き続き、集落ぐるみの鳥獣被害対策を推進していきます。

（農業振興普及部）



勉強会(集落環境診断)での話し合いの様子



イノシシ用電気柵実証・展示ほ設置の様子

## 県北地方特定家畜伝染病防疫演習を開催しました！

令和元年10月25日（金）、二本松市の東和文化センター、東和第一体育館において、福島県特定家畜伝染病対策県北地方連絡会議主催による「令和元年度県北地方特定家畜伝染病防疫演習」を開催し、関係機関・団体から73名が参加しました。

昨年9月に我が国では26年ぶりとなる豚コレラが発生して以降、関東地方まで感染範囲が広がり、本県での発生リスクが高まっていることから、鳥インフルエンザに加え、豚コレラ発生時の初動防疫体制についても確認しました。

防疫演習では、野鳥の本格的な飛来シーズンに備え、養鶏農家における鳥インフルエンザ発生を想定した防疫作業の一連の流れを体験しました。参加者は、防護服の着脱や鶏の捕鳥を実際に体験することで、現地での防疫作業のスキルアップを図ることができました。

万が一、特定家畜伝染病が発生した場合に万全の体制で初動防疫が行えるよう、今後も関係機関・団体が一丸となって取り組んでいきます。

（農業振興普及部）



防護服の着衣体験



採卵鶏の捕鳥練習

### 「りんご試食会 2019(第31回)」が開催されました！

令和元年10月30日(水)、福島市の「ザ・セレクトン福島」において、「福島りんご研究会」の主催による影響「りんご試食会 2019(第31回)」が開催されました。農業関係者のみならず、一般消費者や報道関係者、飲食店関係者などを招待し、研究会が選んだ6品種(「ぐんま名月」、「シナノスイート」、「シナノゴールド」、「こうとく」、「はるか」、「ふじ」)の試食やスイーツなどの加工品の試食を通して、福島市産のりんごの魅力を感じとっていただけたのではないかと思います。

今年も丁寧な栽培管理により甘くおいしいりんごが収穫されており、参加者は試食した品種に関する活発な意見交換をしつつ、福島市のりんごの美味しさを再認識していました。

(農業振興普及部)



6品種のりんご



りんごの加工品



## ナシ黒星病対策のため落葉処理実演会が開催されました！

令和元年11月7日（木）、福島市笹木野のナシ園地において、JAふくしま未来福島地区本部主催による「ナシ黒星病対策のための落葉処理実演会」が開催され、生産者約60名が参加しました。

本年度は、黒星病の多発により「幸水」を中心に出荷量が大幅に減少し、他品種でも感染が増加したことから、産地として甚大な被害を受け、黒星病対策が大きな課題となっています。

実演会では、落葉処理など耕種的防除を中心とした総合的な対策や落葉処理方法について、農業総合センター果樹研究所及び当事務所の担当者より説明を行った後、ブローアーや乗用草刈り機専用けん引式スーパーを活用した落葉収集の実演が行われました。参加者は、秋型病斑の発生状況や幹周辺に残りやすい落葉のかき出しなどのポイント及び収集方法を確認し、さらに、りん片への感染を防ぐための秋期防除の実施時期などを熱心に質問していました。

当事務所としましても、黒星病の密度を地域全体で低下させることにより、高品質なナシの安定生産を図るため、関係機関・団体一丸となって引き続き支援を行っていきます。

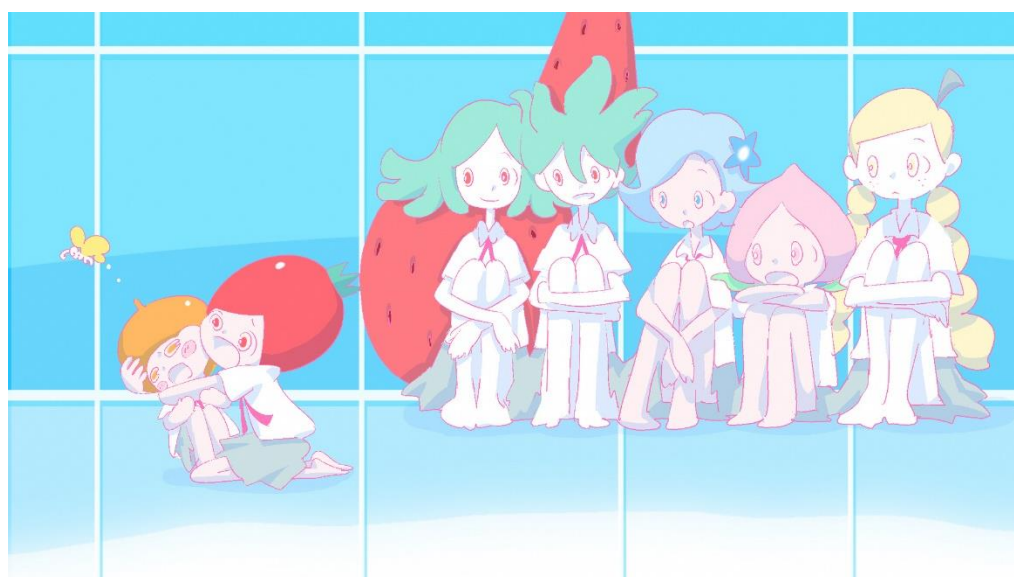
（農業振興普及部）



説明を熱心に聞く生産者



乗用草刈り機専用けん引式スーパーの落葉処理の実演



※本県の農林水産物の魅力を全世界に伝えるアニメーション「食べちゃったっていいのにな！」のキャラクターです。



## 内堀知事による白沢揚水機場の被災状況視察が行われました

令和元年11月1日（金）、内堀雅雄知事が、阿武隈川より揚水し、本宮市白沢地域の農地680ヘクタールに農業用水を供給する重要な施設である白沢揚水機場（本宮市）の台風第19号による被災状況を視察しました。

白沢地域では、県営かんがい事業により、昭和49年から平成13年にかけて揚水機場やパイプラインを整備し、平成25年からは県営ストックマネジメント事業により、老朽化した揚水機設備の更新を実施しており、同地域の農家の9割が同揚水機場を使用しています。

当事務所としましては、来春の水稲の作付けに間に合わせるため、被災した全3基の揚水ポンプのうち比較的被害の軽い1基を今年度内に仮復旧する工事を進めていきます。

（農村整備部）



白沢揚水機場を視察する内堀知事



白沢揚水機場内の視察の様子

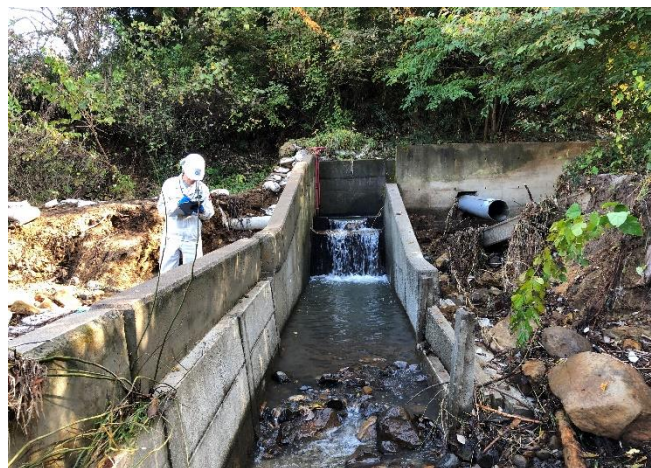
## 防災重点ため池の緊急点検を実施しました

台風第19号の豪雨を受け、管内にある208箇所の防災重点ため池の緊急点検を行いました。点検は各市町村や当事務所において行い、その結果、一部土砂流入等の被害はあるものの、下流の人家や公共施設へ被害を及ぼすような大きな被害は確認されませんでした。

（農村整備部）



川俣町沼ノ平ため池 被災なし



福島市真垣沼 洪水吐の被災状況



## 台風第19号による砂子堰の被災状況について

阿武隈川水系広瀬川より取水し、伊達市梁川地区の農地約355ヘクタールへ農業用水を供給している砂子堰が、台風第19号の豪雨により甚大な被害を受けました。

砂子堰は、江戸時代に築造され、昭和45年から48年に実施された県営かんがい排水事業で大規模な改修を行いました。

今後、団体営の災害復旧事業として復旧が進むよう支援していきます。

(農村整備部)



河川の越水による砂子堰水路の倒壊



砂子堰水路構造物の破損

## 農地や農業水利施設の被害状況確認の支援を行っています

台風第19号により、県北管内でも多くの農地及び農業水利施設の被害が発生しましたが、市町村の人手不足を補うため、当事務所の農業土木職の職員が、福島市、二本松市、伊達市、本宮市の被災状況確認の支援を行いました。また、被害が広範囲であるため、ドローンを用いた被災状況確認の支援も行っています。今後も市町村の状況に応じた支援を行っていく予定です。

(農村整備部)



河川護岸が流出し基礎が露出した農道橋(福島市)



果樹の樹木が広範囲で被災 ドローンにより撮影(伊達市)



## 「ゆうきの里収穫大感謝祭農産物品評会」を開催しました！

令和元年11月3日（日）、二本松市の道の駅東和において、ゆうきの里東和ふるさとづくり協議会主催による「ゆうきの里収穫大感謝祭農産物品評会」と、その表彰式が開催され、入賞した農業者と役員等約30名が出席しました。

表彰式では二本松市長賞の他、部門ごとに優秀賞、優良賞、おもしろ野菜の部の入賞、地域の特徴のある農産物に贈られる特別奨励賞など、7部門151点の出品の中から24点が表彰されました。

農産物品評会は、9年目となりますが、今回は台風被害や異常気象にも負けずに、優れた農産物が多数、出品されました。例年、複数入賞をする農業者がいましたが、今回は、入賞者がすべて違うという結果になり、出品された皆さんの力量が向上していることが感じられました。最年少で就農1年目の濱田さん夫妻から出品者で最年長の91歳の三浦さんまで老若男女の顔ぶれも豊かな表彰式となりました。出品された農産物はすべて販売され、中には1個500円もする幻のリンゴもありました。

(安達農業普及所)



農産物品評会 表彰式(入賞者)



来賓祝辞 三保二本松市長



農産物品評会 審査の様子

## 国見町貝田地区ほ場整備推進委員会による視察研修が行われました！

令和元年11月6日（水）、基盤整備後の担い手である「農事組合法人コネクトファーム貝田」などの育成と円滑な農地利用を目的として、国見町貝田地区の農家23名と、国見町役場及び当事務所伊達農業普及所職員が参加し、宮城県登米市津山町の「農事組合法人フォレストウインド津山」を視察しました。

視察した法人は、水稻生産組合から始まり、基盤整備後の集落営農の担い手として、平成19年に8名の農家で法人化されました。現在は役員4名、周年雇用の従業員2名で運営され、水稻65haのほか、長ネギ（春どり、秋冬どり）、キク、湧水を利用したセリを栽培しています。

同法人からは、担い手として永続的な経営（倒産させないこと）を行うために、①農地の貸し手組織である農用地利用改善団体と農地の利用調整や借地料、用水路・畦畔管理等について年2回以上話し合い、協力を得ていること、②周年雇用を確保するため、水稻以外に園芸作物にも取り組んでいること、③10年先を見据えて、次の役員候補として従業員の育成を進めていること、等の説明を受けました。

今回の視察は、参加者にとって、今後の貝田地区の集落営農のあり方のヒントが得られた有意義な研修となりました。

当所としましても、今後も関係機関・団体と緊密に連携しながら、基盤整備地区の担い手への支援を通して、集落営農の発展に取り組んでいきます。

（伊達農業普及所）



視察先で熱心に説明を聞く皆さん



### 第3回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました！

令和元年 11 月 10 日(日)、二本松市の道の駅安達上り線において「アグリビジネス・ネットワークあだち」と当事務所共催で第3回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました。

当日は、地元で採れた福島県オリジナル品種「天のつぶ」の新米を試食していただき、「アグリビジネス・ネットワークあだち」の各会員が地元の特産品を使って開発したご飯に合う「おかずみそ」を併せて試食販売しました。来場者からは「天のつぶがこんなに美味しいとは知らなかった！」「地元特産のピーマンを使ったピーマン味噌がとてもおいしい！」などの声が聞かれました。

その他各店舗が持ち寄った野菜や6次化商品、豚汁、焼きそばなど自慢の品々を販売し、大好評でした。

また、県産農林水産物に関するアンケートに回答いただいた方には、オリジナルエコバックと「天のつぶ」の新米をプレゼントしたり、商品をお買い上げいただいた方に安達地方の美味しい農産物や加工品が当たるビンゴゲームを実施したりしました。

安達地方で採れた農産物などをPR する良い機会となりました。

(企画部)



「天のつぶ」と「おかずみそ」試食ブースの様子



ごはん、おいしいね！



特産品販売ブースの様子



アンケートブースの様子

## 福島県オリジナル品種きのこの試食会が開催されました！

令和元年11月14日（木）、郡山市熱海町のホテル華の湯において、福島県オリジナル品種のきのこ（ふくふくしめじ、なめこN5号、N6号）の試食会が開催されました。

ふくふくしめじ等の販路拡大を目的とした試食会で、県内の飲食事業者や宿泊施設担当者とモデル地区の生産者が一堂に会しました。福島県の担当者による福島県オリジナル品種のきのこの説明の後、「ホテル華の湯」の総料理長及び創作フレンチレストラン「なか田」のオーナーシェフによる創作メニューが提供されました。

ふくふくしめじの素焼きやフライ、なめこを使ったサラダなど、たくさんの品目が並び、参加者は舌鼓を打ちつつ交流を深めていました。

各地の直売所等で販売されていたふくふくしめじのシーズンもそろそろ終了ですが来シーズン、ふくふくしめじ、なめこN5号、N6号はさらに目にする機会が増えますので、是非味わってください！

（森林林業部）



料理の説明の様子



ふくふくしめじの素焼き



なめこのサラダ



いろいろなメニューがありました。



## 大学生が企画したツアーの実施と、新たな郷土料理・スイーツをPRしました！

「大学生の発想によるけんぽく『食』と『農』の魅力発信事業」による取組の一環として、二つのイベントが伊達市霊山町大石地区において実施されました。

一つは11月10日（日）に、昨年度の当該事業に参加した福島学院大学の学生が考案した、「着地型旅行」企画の実施で、午前中は「霊山神社」等のパワースポット巡り、お昼は「りょうぜん里山学校」で地元の「大石3ちゃん倶楽部」の皆さんが作った芋煮などをいただき、午後はイノシシの革製品やクラフトづくり体験等を楽しみました。学生を含め17名の参加者と地域の方々と交流が図られました。

もう一つは、11月17日（日）に、伊達市の「霊山地区交流館」において開催された、地元の美味しい物を一堂に並べて試食品を提供するイベント「大石食べもの博」で、学生もブースを構え、自らの発想により試作した、新たな郷土料理やスイーツ3品を提供し、試食した方へのアンケート調査を行いました。

イベント終了後の反省会では、大学生もそれぞれ感想を述べ、地元の皆さんからも「若い大学生が来てくれ、一緒にイベントを実施できて今年も盛況だった」などの声が聞かれました。

（企画部）



霊山神社を参拝する参加者(11月10日)



イノシシの革製品(小銭入れ)作りに挑戦(11月10日)



ブースを訪れた方へ試食品を提供しながらPR  
(11月17日)



地元産リンゴ等を使った3品(クッキー、餃子、ピザ)  
(11月17日)

## 安齋孝行さんが「緑白綬有功章」を受章しました！

令和元年11月21日（木）、二本松市の安齋孝行さんが、東京都の石垣記念ホールにおいて、大日本農会の総裁である秋篠宮文仁皇嗣殿下より名誉ある表彰を受けられました。「緑白綬有功章」<sup>りょくはくじゆゆうこうしょう</sup>は、工夫によって新技術導入や経営改善に挑戦され、地域のリーダーとして農村地域社会にたゆまざる努力と創意工夫によって貢献された模範的農業者に贈られるものです。

安齋さんは、昭和51年に就農し、桑園の集約と機械化により規模拡大と効率的な養蚕経営を実現し、平成5、6年には日本一の繭生産量を記録するなど福島県を代表する養蚕農家として活躍されました。また、平成6年には低迷する繭価をきっかけに、秋から春にかけ養蚕施設を活用した低コスト菌床シイタケ栽培を導入し、水稲とともに経営の柱とし、平成28年には切り花キクを加え、家族経営協定に基づく家族労力のみでの複合経営を実現してきました。さらには、県蚕桑研究会長として養蚕業の振興に貢献するとともに、県指導農業士会の会長として、震災復興に尽力され、また夫婦とも地域の児童生徒等を対象に農業への関心を深める活動を継続実施していることなどが評価されました。

祝賀パーティ会場では、秋篠宮文仁皇嗣殿下から「養蚕農家は減っていますが、これからも継続してください」と嬉しいお言葉をいただきました。

(安達農業普及所)



御夫婦で表彰式後に



緑白綬有功章



表彰式に駆けつけた二人の娘さんと



## 第8回桑折町新そばまつりが開催されました！

令和元年11月24日（日）、桑折町の半田コミュニティセンターにおいて、半田銀山そばの会協議会主催の「第8回桑折町新そばまつり」が開催され、参加した会員や町民200名が「そば打ちの実演」を間近に見ながら、辛み大根などを薬味にして「会津のかおり」の新そばの味を堪能しました。

半田銀山そばの会協議会は、平成24年に「桑折町のそば文化の復活と大震災からの復興」を目的に結成され、以来、福島県オリジナルそば品種「会津のかおり」の生産や、新そばまつりを通じたそば打ち技術の向上や地域住民との交流を続けています。現在、会員は59名で約2,000kgの玄そばを生産しています。また、結成時に「半田銀山そば」の商標登録を行うとともに「生そば」のみならず「そばつゆなどの関連商品」も含めてブランド化を図っているのが特徴です。

開会式では、氏家浩会長から、今年度の「会津のかおり」の栽培状況や遊休農地の解消状況等の取組の成果が報告されました。

次に、来賓を代表して、当所の依田所長が祝辞を述べ、半田銀山そばの会への支援内容や、「会津のかおり」の特徴である香り、味、のどごしの良さを紹介しました。

当所としましては、今後も「会津のかおり」の安定生産に向けた技術指導や「半田銀山そば」のブランド化に向けて引き続き支援していきます。

（伊達農業普及所）



そばまつり開会式（氏家会長あいさつ）



新そばを堪能する参加者



大盛りの「会津のかおり」



会員によるそば打ちの実演

## 「パソコン簿記研修会」を8年ぶりに開催しました！

令和元年11月14日（木）、県二本松合同庁舎会議室において、認定農業者を対象にした「パソコン簿記研修会」を震災以降初めて開催しました。研修には20名の参加があり、第1回目は簿記の基礎について学びました。

すでにパソコン簿記に取り組んでいる方から、初めて簿記を学ぶ方まで様々な方の参加がありました。2回目以降は簿記スキルに応じて、小グループごとにパソコンの入力に取り組むこととしており、普及所では講師8名で対応する予定です。今後3月17日まで6回の研修会を通して、決算、損益計算書、貸借対照表を作成し、経営分析まで取り組む予定です。

まだまだ、よくわからないという方もおられますが、研修会が終わってからも、熱心に質問をして、何とか簿記を習得して経営に活かそうという姿勢がうかがえました。

（安達農業普及所）



所長あいさつ 経営分析についても説明



熱心に仕事に取り組む研修生

注意!!

## ユズの出荷制限・あんぽ柿(干し柿含む)の加工等について

### ■ユズの出荷制限等

福島市産のユズについては、国が出荷制限を指示しています。

また、川俣町（山木屋の区域のみ）産のユズについては、県が収穫自粛を要請していますので、これらの地域で生産されたユズは、出荷・販売・譲渡しないでください。

### ■あんぽ柿（干し柿含む）の加工等

福島市、伊達市、桑折町、国見町の令和元年産「カキ」を原料とするあんぽ柿、干し柿については、今年度も県が加工自粛を要請した上で、福島県あんぽ柿産地振興協会が全量非破壊検査を通じて安全性を確認した製品のみ出荷・販売が可能となっています。検査を受けないで加工・出荷・販売をしないようお願いします。

### ■最新の出荷制限等一覧について

福島県農林水産物・加工食品モニタリング情報(<https://www.new-fukushima.jp/>) を参照ください。

（農業振興普及部）





**けんぼくの直売所紹介** **とんやの郷**  
**「山木屋地区復興拠点商業施設！」**

平成29年3月31日に東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う避難指示が解除された川俣町山木屋地区。同年7月に、山木屋地区復興拠点商業施設「とんやの郷」がオープンしました。

復興のシンボルとして栽培している「かわまたアンスリウム」を買えるのは町内でも「とんやの郷」のみとなっています。行政サービスコーナーで販売されており、花は3週間ほど美しく咲き、様々な色の花がとても鮮やかです。

食堂「吟せん太鼓いちばん亭」では、川俣シャモの親子丼や、山木屋で作られた納豆を使った「大地の女神うどん」など地元の特産品を使ったメニューがたくさんあります。

売店では山木屋の納豆などの特産品のほか、お弁当や日用品などを取り揃えています。

「とんやの郷」は福島市から浪江町に向かう国道 114 号線沿いにありますので、通行の際はぜひお立ち寄りください。

●事業者データ

とんやの郷

〒960-1501 伊達郡川俣町山木屋字日向 40-1  
 ~営業時間~

○行政サービスコーナー 8:30~17:15

定休日:土曜日、日曜日、祝日、年末年始

☎024-563-2021

○食堂「吟せん太鼓いちばん亭」 11:00~14:00

定休日:月曜日、年末年始 ☎024-529-6339

○売店 10:00~18:00

定休日:年末年始 ☎024-573-8990



様々な色のアンスリウム



川俣シャモのぶっかけ親子丼(税込 1,100 円)と

大地の女神うどん(税込 700 円)



とんやの郷限定「とんえもんクッキー」(税込 540 円)

山木屋のお土産にぜひどうぞ!

編集・発行 福島県東北農林事務所 企画部 地域農林企画課

電話 024-521-2596 FAX 024-521-2850

ホームページ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36210a/>

電子メール [kikaku.af01@pref.fukushima.lg.jp](mailto:kikaku.af01@pref.fukushima.lg.jp)

